

# 水田たより 9月号

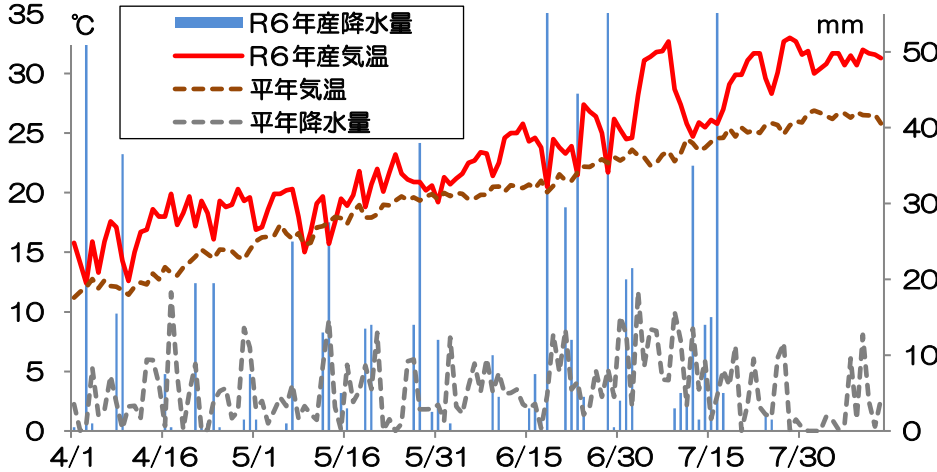
令和6年9月2日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

## 水稲 気象概況と出穂予測

◇気象概況（8月27日時点）



4/1～8/26の概況  
 ◇積算気温3540℃  
 (平年3009℃)  
 ◇積算降水量864mm  
 (平年826mm)  
 ◇積算日照時間1036時間  
 (平年889時間)

気象庁の西日本1か月予報（令和6年8月27日）によると、平年に比べ晴れの日が多く、平均気温は高い予想となっています。

品種	移植日	出穂期（前年）	成熟期見込み（前年）
キヌヒカリ（大安）	5月28日	7月30日（7月30日）	9月5日（9月3日）

収穫後は早期に耕起し（秋起し）、稲わらをすき込みましょう！以下の効果が見込めます。

- ①害虫の餌場を減らす ②春先のガス発生を抑制する ③稲わら流出による水路等の詰まりを防ぐ

## 水稲 秋冬期のジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)防除対策

ジャンボタニシによる食害を防ぐためには、越冬個体を減らすことが重要です。

○秋期の石灰窒素 **発生量が多いほ場で実施しましょう。**

- ①収穫後、水温が17℃以上の時期に行う。
- ②水位3～4cmを1～4日間保ちジャンボタニシを活動状態にする。
- ③石灰窒素20～30kg/10aを全面散布し、3～4日湛水状態を保ちジャンボタニシを致死させる。
- ④田面水は魚毒性が高いため、水路への流出を防ぎ自然落水を待つ。
- ⑤石灰窒素は窒素成分を多く含むため、次作の施肥量を減らし調整する。

※石灰窒素の使用にあたっては、**農薬登録内容を確認し、使用時期、使用方法、使用量、回数等を厳守してください。**



発生量が多いほ場



活発に動くジャンボタニシ

○秋期・冬期の耕うん

物理的な破壊と厳寒期の寒風による致死効果があります。使用したトラクターを洗浄し、未発生ほ場へ持ち込まないように注意しましょう。

- ・耕うん1回目（収穫後～年内）  
 土壌が乾燥し田面が硬いときに、トラクターの走行速度を遅く、PTO回転を速く、土壌を細かく砕く。
- ・耕うん2回目（厳寒期（1～2月））  
慣行のトラクターの設定で走行し、作土層を確保する。
- ・レーザーレベラーなどで田面を均平化すると、次作で浅水管理がしやすくなり防除効果が高まります。

## ◇吸実性カメムシ類

今年の吸実性カメムシ類の発生は多いと予想されています（三重県病虫害防除所 令和6年度病虫害発生予報第4号より）。カメムシ類による被害は不稔や青立ちの原因となります。被害を抑えるためには開花20日後と開花40日後の2回防除が必要です。下記表を参考に適期に防除しましょう。

<防除時期の目安>（「フクユタカ」の場合）

播種日	開花期	1回目防除（莢伸長期）	2回目防除（子実肥大期）
7月上旬	8月中旬ころ	8月下旬～9月上旬	9月中下旬
7月中旬	8月下旬ころ	9月上中旬	9月下旬～10月上旬
7月下旬	9月上旬ころ	9月中下旬	10月上中旬

## ◇ハスモンヨトウ

今年のハスモンヨトウの発生はやや多と予想されます（三重県病虫害防除所 令和6年度病虫害発生予報第4号より）。ハスモンヨトウは8月下旬ごろから発生が急増し、9月から10月上旬にかけて発生が多く見られます。

幼虫が大きくなるにつれて、薬剤の効果が低くなります。カメムシ類と同時の防除では遅れてしまう可能性がありますので、白変葉をみかけたらすぐに防除することが必要です。



今年度県内で確認された白変葉

## ◇排水対策

令和6年産においては2月から3月にかけて平年の2～3倍と急激な雨が降ったために、湿害を受けたほ場が多く見られました。令和7年産に向けて排水対策を行いましょう。

## ○排水対策のポイント

- ・ 水稻跡の場合はなるべく早く額縁明渠を掘る
- ・ ほ場の均平をとる
- ・ 額縁明渠を十分な深さに掘る（20～30cm）
- ・ 額縁明渠の底よりも深い位置に排水口を設置する。
- ・ 額縁明渠と排水口をつなげる
- ・ 額縁明渠と合わせて中明渠も掘る。

<良い例>



排水口と明渠がつながっている 明渠の角がつながっている

## ◇土壌改良

麦類は土壌が酸性化していると生育障害を引き起こし、特に初期生育に影響を与えます。酸性条件下で発生するスギナやタデ科をよく見かける場合は土壌が酸性化している可能性がありますので、土壌診断を行いましょう。酸性化している場合は土壌改良資材を施用してpHを6.0～6.5に調整しまししょう。1年での改善が難しい場合は複数年かけてpHを調整しまししょう。

## ○土壌改良資材の例

苦土石灰、消石灰（土壌診断結果をもとに施用量は調節してください）

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページで  
ご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索